

第 4 回検討会（11 月 22 日開催）についての意見

所属： 名古屋大学

氏名： 吉橋 幸子

(1) 第 3 回検討会でご議論いただいた論点と主な意見（事務局説明）

- 「(3) 次世代革新炉開発に向けた人材育成及び大学の知の集約拠点について」に関して、原子力は総合工学であり、原子力系以外の分野（化学系、機械系など）にも広く革新炉開発が必要となる要素を認識してもらい、関心を持ってもらうことが重要。

(2) 高速炉と高温ガス炉の安全性について（国立研究開発法人日本原子力研究開発機構説明）

- 高速炉の安全性について、ナトリウムの自然循環冷却や活性対策はこれまで多くの知見が得られていると思うが、少しのミスで多大な損傷を与えるため過信しないことが重要。
- 高速炉の安全性について、ナトリウムの自然循環冷却に加えてバックアップ用の冷却機構は用意するのか。

(4) 革新炉のサイクル技術開発への期待（中熊委員説明）

- サイクル技術開発は大いに期待します。2030 年までに少なくとも 12 基でプルサーマルを導入という事に対して、そのスケジュールが知りたい。
- プルサーマルを導入しても現状ではプルトニウムの量は多く減らないと思う。高速炉の開発が鍵ということか。

以上